

業績進捗状況

“Century 2025” Phase 1

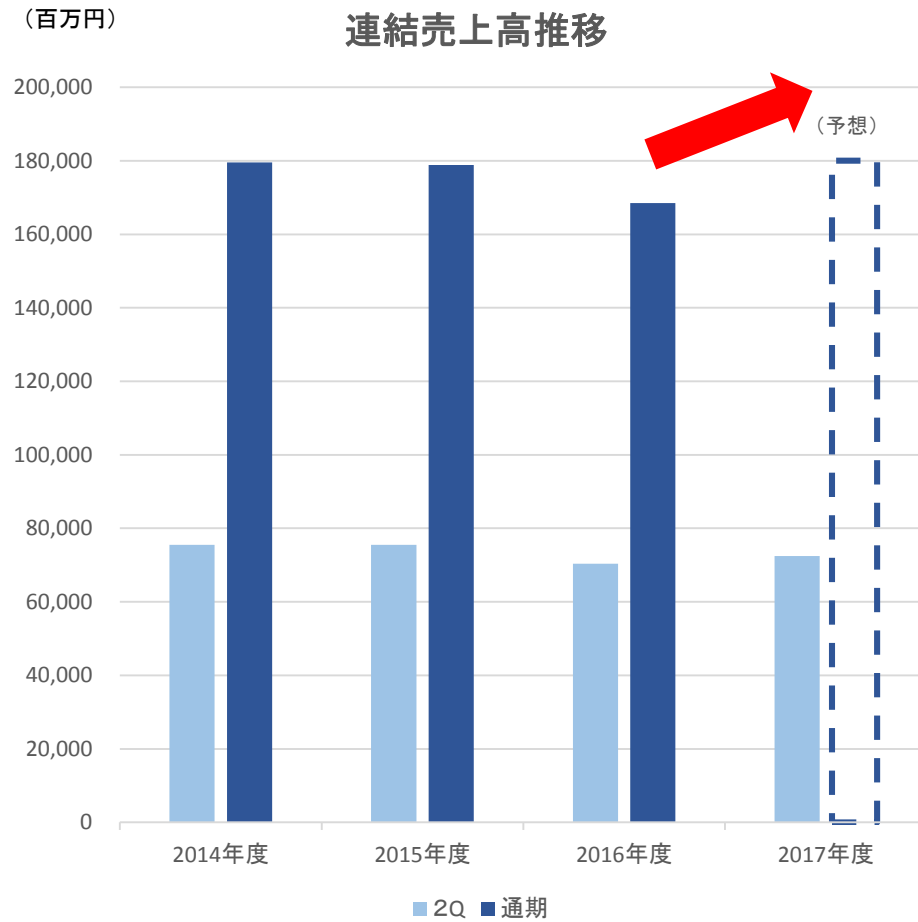
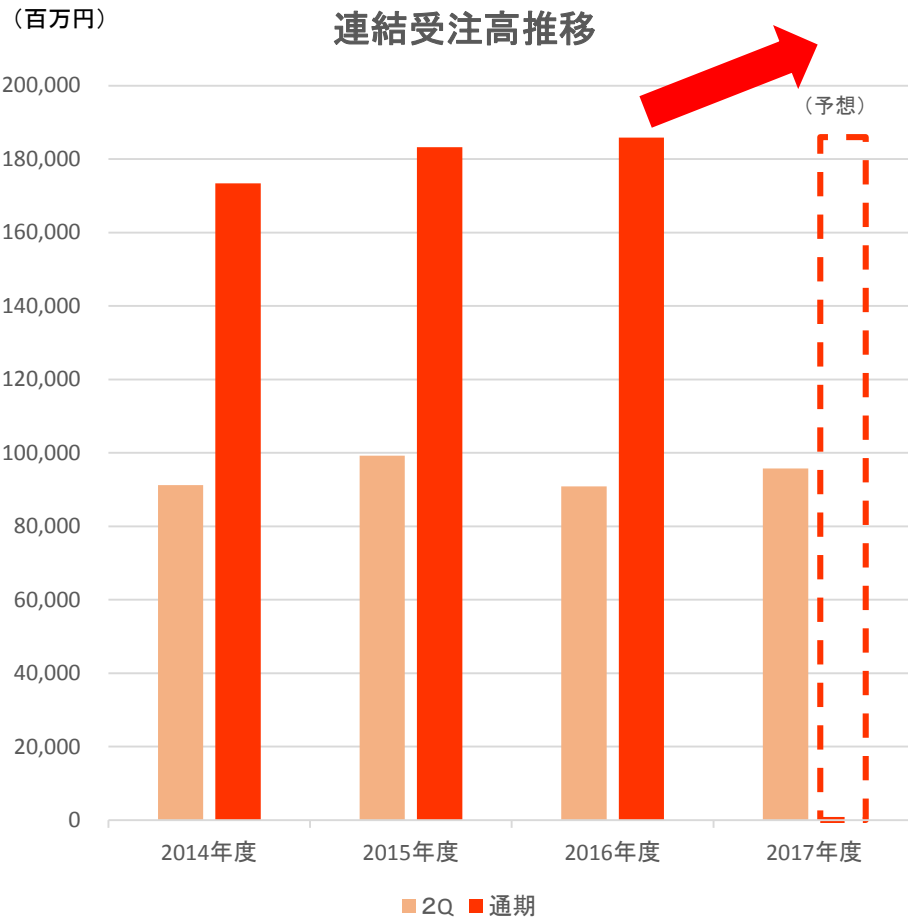
～2017年度第2四半期～

2017年11月10日

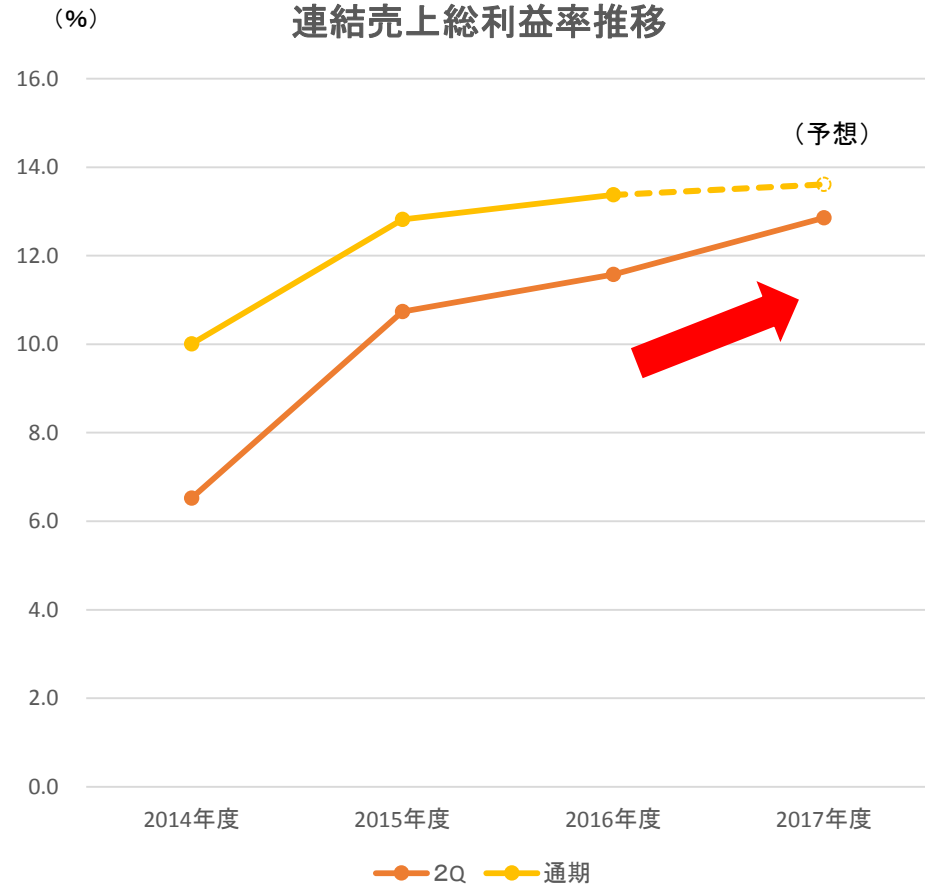
三機工業株式会社



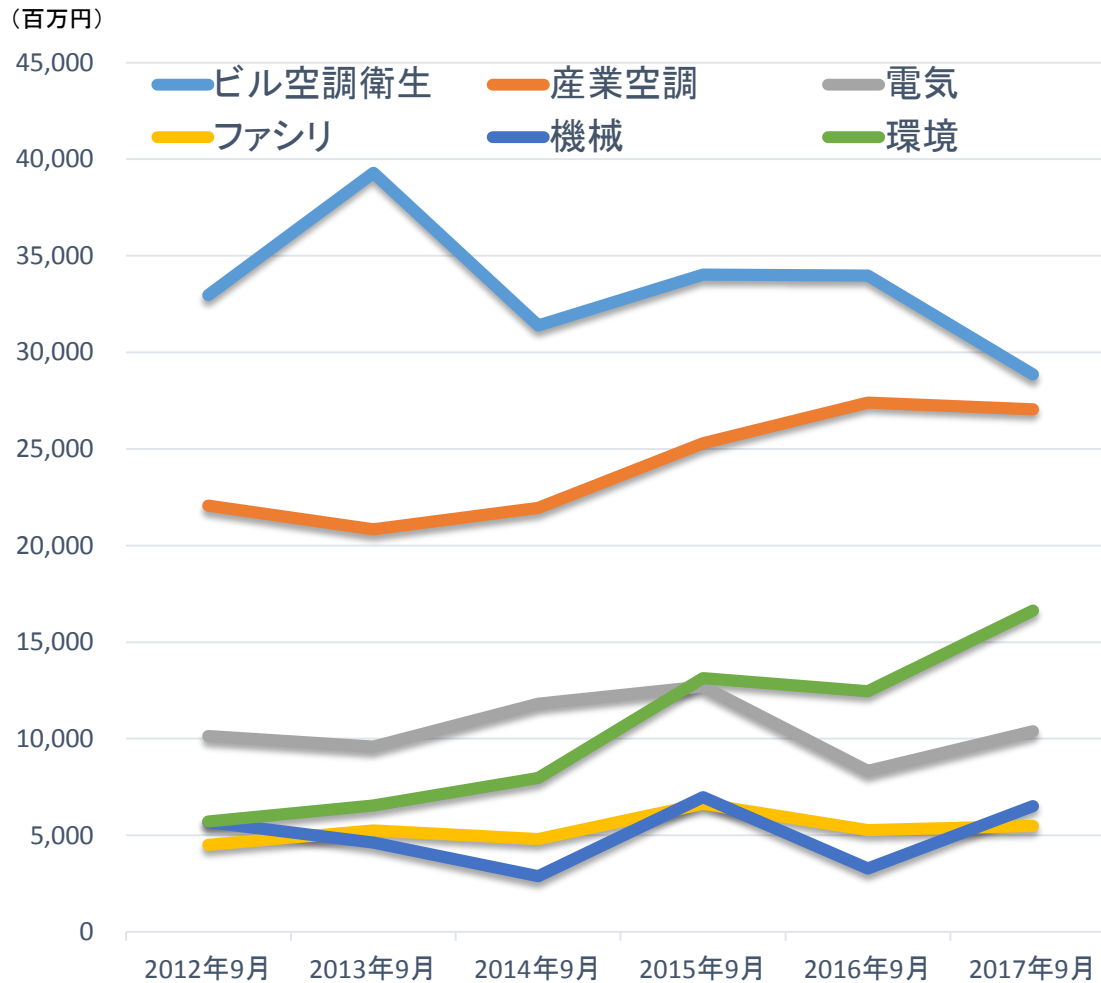
# 受注高・売上高推移



# 売上総利益・率推移



# 事業別・受注高推移（2Q）



ビル空調衛生：一服感

産業空調：堅調

ファシリ：安定

電気・機械：回復

環境：過去6年で最高

不動産等含め  
 全体の進捗率51.5%  
 見通し良好  
 (前年同期49.7%)

## 施策の進捗状況（1）

○2017年度2Qは” Century 2025” Phase1の  
折り返し地点

○テーマ「技術と人を磨き、質を高める」

重要課題	現在の状況
技術力の継承	• STeP計画の中核「三機テクノセンター」構築工事本格化
ストック時代への備え	• 新設のエネルギー回収型廃棄物処理施設をDBO方式で受注 • 新分野進出「木質バイオマスガス化発電設備市場」 • 工事経歴マッピングシステム「S-Map」稼動
次世代技術開発	• 「三機テクノセンター」内に新たな技術研究所整備中 • AIを搭載したICTプラットフォーム「エスクラウド」開発

## STEP計画の進捗状況

---

○「三機テクノセンター」構築工事本格開始

➡ 2018年10月頃 運営開始予定

○大和事業所工場施設解体中（賃貸予定区画）

➡ 2018年春頃 賃貸開始予定

○機械システム工場仮移転完了（湘南地区）

➡ 2019年8月頃 新工場運営開始予定

○技術研究所仮移転完了（三機大和ビル内）

➡ 2018年4月頃 新研究所運営開始予定（三機テクノセンター内）

# 木質バイオマスガス化発電設備納入



プラント建屋外観



ガス化炉

本件はNKCながいグリーンパワー株式会社より2016年5月に受注し、山形県長井市に建設した木質バイオマスガス化発電設備です。

日本の電源構成における再生可能エネルギー比率は2013年度で約11%で、国のエネルギー政策により2030年度には約24%まで拡大するとされています。

当発電所では年間26,000トンの国産木材を燃料に、年間1,480万kWh(一般家庭約3,000世帯相当)の発電を行います。ガスエンジン発電機の発電効率は、この規模の一般的な蒸気タービン発電方式の2倍以上の高い効率を有します。

当社は、当発電設備および隣接するチップ製造工場において、ガス化設備・タール燃焼装置などのプラント設備、および空調・衛生・電気の建築設備工事を担当しました。

# 湯野浜温泉地区CO<sub>2</sub>大幅削減事業

図1 集中給湯配管ルート

温泉の未利用熱を利用した給湯を11施設に供給



図2 集中配湯配管ルート

配湯配管をリニューアルし、温泉利用量増加に対応



受水槽と予熱槽



熱交換器チャラー

本件は湯野浜温泉地区で温泉の未利用熱を有効活用してCO<sub>2</sub>排出削減を進める事業で、環境省の補助事業として採択されたものです。当社はインフラ工事を担当しました。事業の実施団体は湯野浜温泉源泉設備保有株式会社で、山形県、鶴岡市からも助成を受けています。

膨大な量のお湯を消費するホテルや旅館において、これまでは化石燃料を用いたボイラーでお湯を沸かしていました。これを、今までは使われていなかった温泉熱を利用してお湯を作ることによって、CO<sub>2</sub>排出量が大幅に削減されます。削減量は年間879トン(一般家庭約180世帯分)、2015年度比15%削減が見込まれています。

また設備も集中給湯設備とすることで、地域全体で効率化が図られています。



## 施策の進捗状況（2-1）

### ○現場支援組織の充実

組織	現在の状況
調達本部	2017年4月より、全店で発注業務を電子化する調達WEBシステム稼動開始
サイト業務支援センター	元請現場へのグリーンサイト導入、労務安全管理関連支援開始など業務範囲拡大 取扱件数942件（前年同期比91件増）
設計支援センター	エンジニアリング統括室に設計支援センターを統合し、全店的に設計業務を支援 取扱件数59件（前年同期比29件増）

### ○生産性向上に向けたICT投資

テーマ	現在の状況
タブレット端末の有効活用	グループ全体でタブレット端末1,200台を施工現場を中心に導入。業務効率化を継続して推進
技術資料検索システムの開発	社内に分散している技術資料を、グループ全社員がどこからでも横断的に検索できる仕組みを構築中。年内にも稼動予定

## 施策の進捗状況（2-2）

- 働き方改革「スマイルプロジェクト」3年目へ  
社長をリーダーとする取組みで、社会に先駆け2015年10月に発足

主な実施項目	内容
トップメッセージ発信	「休みをとる意志 休める環境づくり 休ませる決意」
長時間労働を減らす	残業時間の目標時間を部門別に設定
時間管理を緻密に	勤務表とは別に残業時間管理ツールを新たに導入
より働きやすく	ジョブリターン、在宅勤務（テスト運用）、社宅見直し 等

## ○コミュニケーションアップの取組み

昨年度、社長が全店を回り約300名の社員と直接意見交換

今年度は各部門長がこれを実施。下期から開始し全55回を計画

昨年度に続き女性社員交流会「三機レディ座談会」第2回実施予定

## 施策の進捗状況（2-3）

### ○ESGの切り口から

	進捗状況
<b>E 環境</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「SANKI YOUエコ貢献ポイント」2016年度下期分寄付実施</li> <li>・新設のエネルギー回収型廃棄物処理施設をDBO方式で受注</li> <li>・木質バイオマスガス化発電施設納入（再生可能エネルギー関連）</li> <li>・NEDO等と共同で中国上海市で高度省エネルギー設備納入</li> <li>・経済産業省が2017年度に新設した「ZEBプランナー」登録</li> </ul>
<b>S 社会</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当社独自の働き方改革「スマイル・プロジェクト」が3年目に</li> <li>・施工管理職に特化した上記プロジェクトの分科会「スマイル・サイト・プラン」構想</li> <li>・女性専用相談窓口「女性ほっとライン」新設</li> </ul>
<b>G 企業統治</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取締役会評価内容の充実</li> <li>・議決権電子行使プラットフォームへの参加</li> <li>・コーポレートガバナンスに特化した役員意見交換会実施</li> <li>・取締役会に対する議案上程基準の見直し着手</li> <li>・株主との対話の充実（体制増強し回数増、個人投資家向け説明会）</li> </ul>

# 社会貢献活動

## 「SANKI YOU エコ貢献ポイント」による寄付



寄付先の環境保全団体が主催する植林イベントに社員が参加



「SANKI YOU エコ貢献ポイント」は、当社がお客さまにCO<sub>2</sub>削減につながる設備の省エネルギー提案を行い、ご採用いただいた場合、その削減量をエコ貢献ポイント(CO<sub>2</sub>削減量1トン=100円)に換算して、環境保全団体に寄付するものです。

13回目となる2016年度下期分は、1,297,500円(CO<sub>2</sub>削減量12,975トン)を寄付しました。初年度である2010年度からの寄付金額累計額は14,676,000円となりました。

## 「打ち水日和」in聖路加ガーデン



7月20日、東京都中央区の聖路加ガーデン2階親水公園にて、「三機工業『打ち水日和』in聖路加ガーデン」と題した打ち水イベントを開催し、当社グループ社員、一般参加の方を含めて約90名が打ち水を行いました。

当イベントは、同日開催の東京都環境局主催の「打ち水日和～江戸の知恵・東京のおもてなし～」という打ち水イベントの趣旨に賛同して実施したものです。

## NPO団体に非常食を寄贈

6月12日、社会貢献活動の一環として本社・東京支社の災害時用の備蓄アルファ米(賞味期限切れ前の入れ替え品)5,000食をNPO団体へ寄贈しました。

# 人材確保・育成

2017年4月新卒入社92名



4月3日、92名の新入社員を迎えました。続く4月7日、新人研修の定番プログラムのひとつ、「京都真如堂研修」を開催しました。真如堂は三井家の菩提寺であり、「人の三井」と言われる三井グループの一員としての自覚を促す目的で実施しています。

当日は会長・社長などトップマネジメントも同行し、座禅や清掃をともに行うことで、人に優しい、三機らしい人材を育成しています。

タイでリクルートイベントに参加



6月16日・17日、バンコク市内で開催された「第6回日系企業就職フェア」に、当社グループ会社のタイ三機エンジニアリングが出展しました。

多くの就職希望者がブースを訪れました。

協力会社表彰



6月2日に開催された本社・東京支社安全・品質大会で、三機スーパーマイスター表彰、三機ベストパートナー表彰が行われました。

以上